

消費者機構日本 御中

回答書

平成22年8月31日

株式会社ワールドアベニュー

代表取締役 松久保 朱美



平成22年8月9日付けの、貴機構の「再申入れ並びに要請」と題する書面（以下、「本書」という。）に対し、以下の通り、ご回答申し上げます。

1について

当該条項の趣旨については、先日の回答書にてご説明申し上げたとおりであり、「お客様の都合によるプログラムの中断」によって、当社にどのような損害が発生するか、どのような状況が起こり得るか等を正確に想定することは、留学あっせんというサービスの性質上、難しいものがあります。むしろ、例えば、アメリカ有給インターンシッププログラムは出発前にお客様の希望、必要書類の作成サポート、現地企業とのマッチングを行い、面接の設定、面接の練習、面接後のフォロー、研修先決定後にはビザの手続きサポートを行っており、お客様が出発される前にすべての役務提供を終えておりますし、また同様に各国でのボランティアプログラムも、現地ボランティア先を出発前に手配しており、出発までにプログラム代金全額分の役務提供を終えてしまっていることが多く、すなわち、出発前のお客様の中断であっても、当社に多大な負担が発生していることが多くあります。

したがって、こうした状況に柔軟に対処し得るため、当該条項において、多少なりとも包括的・抽象的な表現形態となることまでは、消費者契約法9条に反するものではないと理解しております。何とぞ、ご理解のほど、お願い申し上げます。

2について

本申込金について、貴機構は、「違約金」であることを前提に、論を進めておられます。しかしながら、その趣旨は、先日の回答書でご説明申し上げたとおりであり、「違約金」ではありませんので、ご理解のほど、お願い申し上げます。

すなわち、本申込金は、お客様と当社との契約締結を証するものであるとともに、「留学に関する各種最新情報の優先的提供を受けることができるほか、留学経験者・希望者らのメンバー懇親会に参加でき」という「メンバー資格取得費用」であって、契約締結の際にお支払いいただくものであります。この点、貴機構は、「準委任契約における解約」の場合、こうした「申込金」についても「解約時には返還される」べき（本書2頁下から11行目以下）と主張されるのですが、民法651条の解除の場合、民法652条・620条により、解約時から将来に向かって解除の効力が生じるに過ぎず、契約締結時に遡って契約が無効となるものではない旨定めていることからすると、その主張は当たらないと考えております。すなわち、契約時に、前述の趣旨に基づき支払われた申込金支払の効力までを、法は失わせてはおりません。よって、当社のこの扱いが、消費者契約法9条に反するとはまでは言えないと思料いたします。

但し、今般の貴機構からの一連の申入れが為される以前から、契約締結日から7日以内に契約を解約される場合には解約の理由のいかんを問わず申込金の全額を返還するという措置を講じておりますとともに、それに留まらず、今後も、貴機構のご指摘も参考にいたし、契約の解約理由、解約時期等によっては、申込金の全部又は一部の返還をする措置を講じることも、現在検討中であることを申し添えさせていただきます。

3について

この点につきまして、先日の回答書で十分ご説明したかと思料いたしております。すなわち、お客様の突然のキャンセルに伴う当社の損失等についての緻密な類型化は、その性格上、著しく困難です。

もともと、当社としても、この点につきましては、貴機構の申しれ書等の趣旨も勘案し、業界団体とも連絡をとりながら、なお、検討を重ねたいと考えているところであり、ご送付いただいた約款例も、十分参考にさせていただきたいと思っております。

4について

この点につきまして、参考までに、留学先より、別紙のような進学に関する説明書を準備していただきましたので、これの同封をもって、回答とさせていただきます。ご参照のほど、お願い申し上げます。

以上

英文の翻訳です。

消費者機構日本 御中

〒102-0085 東京都千代田区六番町15、6F

2010年8月17日

御担当者様

私は日本人に関連する English for Nursing Registration (以下、「ENR」と称す ※看護資格取得のための英語コース) の要点についての記載依頼の基、下記に要点を記載しております。

1. King's Education (以下、「キングス」と称す) にて運営されている全てのコースは New Zealand Qualifications Authority (以下、「NZQA」と称す ※「ニュージーランド政府と教育省が認可する資格審査局」の意) により認可されており、キングスも学校として NZQA に登録しています。キングスは NZQA により 3 年周期にて監査が行われていますが、この周期期間は NZQA により与えられる最大周期期間となっております。つまり、キングスはニュージーランドにある学校の中でも最高位の質を保持しているという意味になります。また、キングスは English New Zealand という国内でも上位 30 校しか選出されない団体のメンバーでもあります。
2. ENR コースは今もなお伸び続けるニュージーランドの需要を満たすべく、経験豊富な海外の看護師がニュージーランドに来てもらうために向上されてきました。ニュージーランドにおける正看護師の需要は深刻であり、労働局から発表されているリストにも長期不足職業として記載されています。キングスは ENR コースを 3 年間運営し続けており、また質の高い学士以上で英語教授資格を保持する先生により、その内容を更新、改良し続けてきています。English New Zealand に所属する英語教師は、英語教授資格を保持している必要があります。海外の生徒に英語を教えている全ての学校は先ず、全てのコースが NZQA により認可されている必要があります。キングスは NZQA によって認可されている General English (一般英語) と IELTS Preparation (IELTS 準備コース) を行っておりま

す。尚、IELIS 準備コースには、Occupational English Test for Nurses (看護師用 OET コース) も含まれています。ニュージーランドの看護協会が提示している、ニュージーランドで看護師になるための必須英語力は IELIS の各バンドで 7.0 以上、もしくは OET の全ての科目で B 以上を達成することと制定されています。

3. 英語を学ぶ期間の目安として、IELIS を 0.5 点向上させるには 3 ヶ月の期間が必要とされており、ENR コースに入学するには先ず IELTS6.0 同等の英語力が必要と定義されています。生徒の語学力向上を促進するために、キングスでは独自の英語力審査システムを使用しており、看護師は毎週月曜日に自分の技能エリアを測るための試験を受けています。この試験では IELTS に酷似した点数表記を行っており、このため看護師はこのキングスより提供された試験結果を基に、自分の英語の向上率を技能別に測る事ができます。現在までたくさんのアジア人がキングスにて ENR を受講し、ニュージーランドで看護師になるために必要な英語力を取得しています。更にキングスは ENR コースの期間である 26 週間の期間内に目標の英語に達する事ができなかった生徒に対し、英語力向上のための無料延長期間を提供しております。

4. 私はワールドアベニューのオフィスを訪ね、セミナーの開催やカウンセラーに ENR コースの詳細を提供する等のトレーニングも行なっております。このトレーニングの一環として、IELTS7.0 を取得するためにはどれぐらいの期間が必要であるかの説明をキングス独自の審査方法を用いて説明しています。即ち、通常 ENR コースの入学に必要とされる 6.0 を取得するためには、看護師の場合、最低でも 1 年かかることが通常とされており、その後に ENR コースの期間である 26 週間を経て、看護師資格取得に必要とされている 7.0 を取得する流れとなっています。

私の意見としましては、ワールドアベニューはコース入学条件、及び看護資格取得に必要なとされている 7.0 取得の目安期間を生徒に明確に伝えています。ワールドアベニューが日本の看護師に提供している詳細情報は、上記に示された情報を基に提供しています。

To Whom It May Concern
Consumers Organization of Japan
6F, 6-15, Rokuban-cho, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0085

17 August 2010

Dear Sir/Madam,

I have been requested to write to identify aspects of the English for Nursing Registration (ENR) as it relates to Japanese.

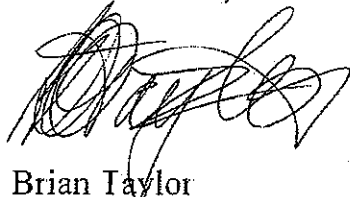
1. All courses that are run at King's Education have been approved by the New Zealand Qualifications Authority (NZQA), as well King's Education is registered with NZQA. King's is on a three year audit cycle with NZQA which is the maximum period that the authority allow. This means that King's is among the highest quality schools in New Zealand. King's is also a member of English New Zealand which is represented by only the top 30 schools in this country.
2. The ENR course has been developed as a response to a growing need in New Zealand to bring in experienced registered nurses from overseas. The need for registered nurses is listed as a long term skill shortage with the New Zealand Department of Labour. For three years king's has been running the ENR course. The course has been developed to a very high level by well qualified teachers with bachelor degrees plus English teaching qualifications. All teachers who belong to English New Zealand must have English language qualifications to teach English. All schools teaching courses to overseas students must have all their courses accredited by NZQA first. King's is authorised by NZQA to teach General English and IELTS preparation (which includes Occupational English Test for nurses). The requirement from the Nursing Council of New Zealand is that nurses must reach an IELTS level of 7.0 in each skill area or a B band for OET in each skill area.
3. The length of time for learning English is three months for each 0.5 improvement for IELTS and to enter ENR they must get to an IELTS of 6.0 first. To assist students King's has its own assessment system where nurses

sit a skill area test every Monday. The assessment is bench marked against IELTS so uses the same scoring system. This way nurses can check their progress using the feedback system provided by the King's assessment system. Through the ENR course there are many Asian students who have studied at King's Education and have successfully achieve the English requirement to become a registered nurse in New Zealand. Furthermore, Kings provides a free extension of study time, after the 26 weeks of ENR, for the students who are not able to obtain the English in the time period.

4. I have been to the World Avenue offices to run seminars and train the staff in the details of the ENR course. This includes the time of study (using the King's Assessment system) it will take to get to the IELTS level of 7.0. Often this meant that nurses needed to study for at least a year to reach the 6.0 and then another 26 weeks in the ENR course to reach the 7.0 required. In my opinion World Avenue have made it very clear to nurses the requirements of the course and how long it is likely to take to reach the 7 0 required. The guidance that World Avenue have provided to Japanese nurses has reflected the details of the ENR course described above.

I hope this satisfies any concerns that may arise.

Yours sincerely

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Brian Taylor', written in a cursive style.

Brian Taylor

Managing Director
M.Ed., B.Sc., Dip Tchg.